

ポイント

◆◆特集◆◆

★【解説】国の直轄事業に係る都道府県等の
維持管理負担金の廃止等のための関係法律の整備に関する法律★
(国土交通省 河川局 水政課 / 道路局 路政課)

平成22年3月31日、第174回通常国会において、「国の直轄事業に係る都道府県等の維持管理負担金の廃止等のための関係法律の整備に関する法律」が可決・成立し、同日に公布、平成22年4月1日から施行された。

今号では、直轄事業負担金のうち維持管理に係るものの廃止を主な内容とする同法につき、改正の経緯・内容等を解説する。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★ 道路の占用について★
(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)
道路占用の基礎について解説

◆◆TOPICS◆◆

★富山市におけるコミュニティサイクルの導入事例について★
～民間資本を活用した次世代レンタサイクル～
(富山市 環境部 環境政策課)

富山市は、「環境モデル都市」として、過度に自動車に依存しないコンパクトなまちづくりを進める中、環境にやさしい新たな公共交通としてコミュニティサイクル（愛称：アヴィレ）のサービスを今年3月に開始しました。本稿では、このアヴィレの導入事例について紹介します。

★北九州市におけるコミュニティサイクル導入促進事業の取組みについて★ (北九州市 建築都市局 都市交通政策課)

北九州市では、過度のマイカー利用から公共交通や自転車への利用転換を図り、市民の多様な移動手段を確保するとともに、CO₂削減に寄与する「北九州市環境首都総合交通戦略」を、平成20年12月に策定しました。

今回は、本戦略の施策のうち「レンタサイクルの普及」として、平成22年3月27日に開始した「コミュニティサイクル事業」について報告します。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★公衆便所の道路外利便施設協定について★ (国土交通省 北海道開発局 建設部 建設行政課)

夕張市所管の公衆便所が廃止されるとの連絡を受け、当該公衆便所の道路利用者に対する利便性を考慮した結果、道路法第48条の17第1項の利便施設協定を締結し、道路区域外の施設である公衆便所を北海道開発局が維持管理することとしました。

本項では、全国初となる公衆便所を対象とした利便施設協定の締結に至る背景や、利便施設協定の概要について簡単に紹介させていただきたいと思います。

★道路管理関係業務の電子化等の取組について★ (京都府 建設交通部 道路管理課)

京都府では、道路台帳の電子化、通行規制情報や冬期路面監視カメラのネットによる情報提供など、業務の電子化に力を入れています。

また、きめ細やかな道路管理のため、府民との協働による植栽の管理や歩道除雪を推進するとともに、昨年12月には、橋梁長寿命化修繕計画推進協議会を立ち上げ、市町村の支援をしています。

★『宮津城の城壁復元に取り組む』★ —災害復旧事業への市民参画を通じて— (京都府 宮津市 建設室)

宮津市では、平成16年の台風23号により大きな被害を受けました。

この災害の復旧工事と、これと一体的に行った、ワークショップによる市民との協働に取り組み、宮津城の面影の復元等、歴史的な遺産を活かした道路改修の取組などについて紹介しています。

★農山村地域の町における道路維持管理の取り組み★

～協働のみちづくりについて～

(京都府 船井郡 京丹波町 土木建築課)

京丹波町は、農山村地域で、道路の管理延長が長大であり、緊急的な維持修繕を除き、行政によるきめ細やかな対応が困難な地域事情にあります。

このため、ポットホールの補修等は職員が行いますが、除草、側溝清掃、函渠閉塞などは、住民の手によりお願いし、ニーズに合致した道路管理に努めています。

◇ ◆編集後記◆ ◇

夏の風物詩と言えば・・・花火、スイカなど色々ありますが、最近の日本の夏という私は「日傘」を思い浮かべます。

日傘は昔からありますが、私にとってそのイメージと言えば貴婦人が外出する時にさして歩く。というイメージでした(古い?)。ところが最近では日傘を常備している事は普通の事で、ささずにはいられないという恐怖心を持つ女性も多く見られるようです。それほど紫外線に対する恐怖心というのは高まっているように思います。また、日傘をさすだけで暑さが多少やわらぐように感じます。ただし、この多くは女性に見られる傾向です。そのため先日のニュースでは男性の紫外線対策特集なるものを放送していました。

数年後には男性でも日焼け止めを欠かさず日傘をさして歩く光景が見られるかも知れません。

お天気の良い日には日傘をさしてお散歩。そんな優雅な生活に憧れてしまいましたが、そんな中、前々から気になっていた事が・・・それは気温が30℃を超えるような真夏の日中でも平気で犬を散歩している人がいる事です。

犬はその大部分が毛皮に包まれています。また、人間よりも体温が高いため夏は犬にとってかなりつらい季節となっています。

さらに、東京の道はアスファルトで出来てる所も多く、その照り返しは人間よりも低いところを歩く犬にとっては殺人(犬)的な熱さになるといわれています。

愛犬家であるならば、暑い季節に日中散歩に連れて歩くという事が、犬にとってどんなにつらい事か、もう少し理解して楽しく生活をして欲しいと思っています。

いずれ人間だけでなく、犬も日傘を装備してお散歩する日がくるのかも知れません。(K)